

# 地域学校協働活動事業訪問

## 【第2回おおたまコミュニティフェスタ】

訪問日：令和元年8月3日（土）

場 所：大玉村ふれあい広場

内 容：ステージイベント及び屋台・売店の企画運営

### 【屋台・売店】

- ・大玉村産コシヒカリの無料配布・大玉漬物セット
- ・おったまげた てりやきバーガー
- ・タピオカドリンク
- ・手作りレンジャクセサリー
- ・やきとり、牛串等

### 【ステージ・イベント】

- ・大玉中出身の高校生フォークデュオ
- ・オープニング
- ・めざせ大玉村マニア！難問2択クイズ
- ・ミニ運動会（玉入れ・綱引き）
- ・未成年の主張
- ・表彰式・エンディング

8月3日（土）。晴天の夏空のもと、第2回おおたまコミュニティフェスタが盛大に開催されました。今年は、大玉中学校の生徒も実行委員会のメンバーに加わり、大玉村商工会青年部の方々の支援のもと、ステージイベントや屋台・売店を企画し、当日の運営を行いました。また、美術部の生徒も、ポスターや看板を作成するなど、地域のイベントを盛り上げるために活動しました。

実行委員会の会議は各部会を含め7～8回開催され、良い企画にするための話し合いを重ねてきたそうです。会議の中で、中学生は柔軟な発想で、大人には出せないような様々なアイデアを出しました。青年部の担当者は、「中学生のアイデアを可能な限り生かしたいと考えていた。村のために頑張ろうとしている子どもたちの考えを全否定はしたくなかった。大人目から見て、お金や時間、実施方法で調整を要することもあったが、彼らはどうしたら実現できるか考えることで、よりよい企画を創り上げた。今回の成功経験は成長の過程で壁にぶつかったときに、役立っていくと思う。」と目を細めていました。

中学生も、「自分たちの考えが生かされて嬉しかった。自信はなかったけれど、自分たちもやればできるということを実感している。地域の人たちと一緒にやったことで、大玉村の温かさや良さを改めて感じた。村のことが好きになり、ここ（大玉村）にいて良かったと思った。」と笑顔で話していました。

ステージからは、進行役の中学生の声が会場いっぱいに響き渡っています。売店コーナーでは、中学生の元気なかけ声に誘われて、食べ物やアクセサリーを求める列ができています。それらの様子を地域の皆さんが温かく見つめています。

そんな光景を眺めながら、地域全体の力で子どもたちの成功体験や自己肯定感、地域への愛着などが形成されていることを強く感じました。そして、この子どもたちが、大玉村の良さを次の世代につないでいく姿を想像しながら、夏の空を見上げました。

